

第2回「まち」とともに歩む学校づくり懇話会

2月18日（月）、道徳授業参観に続いて「『まち』とともに歩む学校づくり懇話会」が行われ、次の皆様にご参会いただきました。本校からは、原校長、杉田副校長、馬場主幹教諭、山口主幹教諭、鵜飼主幹教諭、原主幹教諭、山中主幹教諭・養護教諭、中山教諭の8名が参加しました。

彦根 秀臣 様	磯子台自治会長	平田 久美子 様	汐見台地区 主任児童委員
松田 一男 様	磯子浜西町内会長	月山 久恵 様	コミュニティハウス 館長
菅原 和代 様	放課後キッズクラブ 主任指導員		

懇話会では、校長より「創る」「豊かなかわり」という今年度の重点目標についての取組報告をいたしました。その具現化に向けた取組として、「生活科」と「総合的な学習の時間『かがやきタイム』」を中心とした各学年の取組を伝えました。また、皆様にご協力いただいた学校評価の分析をご報告いたしました。

今回は「『つながり』 保護者同士のつながり 子ども同士のつながり 学校とまちのつながり」をテーマに、あいさつや互いにつながりをつくる手立てなど、それぞれの立場からたくさんのご意見が出されました。



- ・自分で決めるという学習が増えてきて、子どもたちが変わってきたと感じる。磯子台町内会では年配者が多いが、夏祭りには延べにして200名近くの子もたちが集まってくる。子どもが少なくなっているが、会うと挨拶を交わすことが増えてきて、いい関係ができています。
- ・子ども会を経由して750世帯がつながっている。去年は20年ぶりに夏祭りが復活した。
- ・町内会と警察と民生委員との連携の重要性を感じた。
- ・学校の学習活動に協力できることはしたいので、学校だよりの回覧など町内会にPRできる機会を増やしてほしい。つながりがさらに生まれると思われる。
- ・磯子まつりは会場が近い森東小に比べると同じように近い浜小の参加者が少ない。
- ・エコパトロールやホテルの会の参加は増えている。「地域の行事に参加している」のポイントが上がっているのがうれしく、今後も参加が増えることを願っている。
- ・浜コミでは、土日は一部ではあるが保護者とのつながりが多くなってきた。2年生のまち探検のおかげで、学校とのつながりができた。
- ・子ども一人で浜コミに来るとルールがきちんと理解できており、「ありがとうございました」などの挨拶もしっかりしている。
- ・親が忙しいことと、「あれダメ、これダメ」など制限することも多く、子どもの自己肯定感が低くなってきているように感じられる。
- ・「これは何のためにやるのかな？」などと投げかけることが主体的な子どもを育てていくことにつながっていると感じる。
- ・拠点校地域防災訓練に参加した。参加者が少なく、学校のプログラムにも組み込んでみてはどうか。
- ・キッズで行ったハロウィンでは磯子台町内会の彦根会長のお宅に行ってお菓子をもらうなどのイベントを行い、地域とのつながりを増やしている。